

情報アクセシビリティに関する提言

一般財団法人 全日本ろうあ連盟
青年部長 吉田 航

一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部

Japanese Federation of the Deaf Youth Section

活動の3本柱



仲間
づくり

学習
づくり

要求
づくり



<http://jfdys.net> jfdys1969

国際手話入門講座 実施



Let's Try 国際手話 絶賛発売中!



- ▶全国ろうあ者大会 青年のつどい
ご当地ならではの学習・交流!
- ▶全国ろうあ青年部活動者会議
活動情報の情報交換やリーダーシップ研修!
- ▶全国ろうあ青年研究討論会
1966年に初開催。入門講座・5つの分科会で
各々が抱える諸問題を情報交換・討論!

仲間の輪はアジア・世界へ



国際交流も行っています

50

ただ今、制作中!!
青年部発足50周年記念誌

未来は青年のもの

18~35歳までのろう青年会員 会員数 約1300名

全国ろうあ青年研究討論会



ろう青年だけでなく、手話を学ぶきこえる青年も参加。
参加者:約300~400名

情報アクセスの課題

交通

電車、バス等 アナウンスがきこえない
トラブル時は音声で対応が基本

文化

映画に字幕がない
イベントに情報保障がない

労働・教育

テレワークやオンラインで情報保障がない

ICT化

便利になる一方で付いていける人と
取り残される人の差が開く

コロナ禍によって新たな障壁

- ・マスク着用の徹底で意思疎通が困難
- ・生活や命にかかわる記者会見に手話言語通訳がない

東京オリンピック・パラリンピック

- ・「多様性と調和」を基本コンセプト。共生社会を謳っていた。
→オリンピック開会式に手話言語通訳がない
韓国や台湾、カナダなどは最初から放送されていた。

情報アクセシビリティへの期待

- アクセスを妨げているバリアをなくす
日本は後手に回る。法整備の必要性が高い。
- すべての人が利用できる環境をつくる
当事者の参画

理想は

「情報アクセシビリティ・コミュニケーション保障法」
と「手話言語法」の制定を！

小・中・高・大学の授業に英語と同様に「手話言語」を
→全員が手話言語を学び、習得できる環境に
→いつでもどこでも誰とでも手話言語で話せる社会

共生社会の実現のために共に頑張りましょう！



